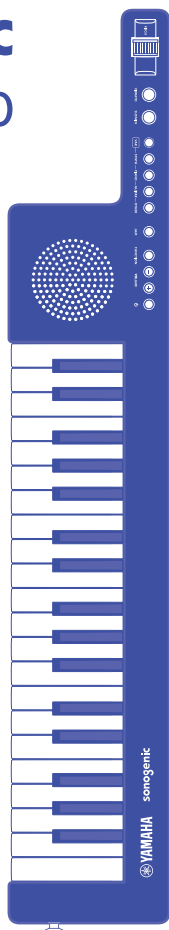


 **YAMAHA**
sonogenic
SHS-300



取扱説明書

ご使用前に必ず 4 ～ 9 ページの
「安全上のご注意」をお読みください。

JA

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この楽器は、そのまま弾いて楽しむことはもちろん、スマートデバイスのアプリChord Trackerと接続して、好きな曲に合わせて演奏できるショルダーキーボードです。
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いします。

取扱説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。



取扱説明書(本書)

この楽器の取り扱いや操作方法などを説明しています。



MIDIリファレンス(電子マニュアル)

この楽器のMIDIに関する資料を掲載しています。

電子マニュアル(PDF形式)は、ヤマハのウェブサイトからご覧いただけます。以下のウェブサイトで「取扱説明書」をクリックし、モデル名を入力して検索してください。

サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書) ×1
- 保証書 ×1
- USBケーブル ×1
- ストラップ ×1
- 製品登録のご案内 ×1

もくじ

各部のおもなはたらき	10
ご使用前の準備	13
いろいろな音で演奏する	18
JAM機能を楽しむ	19
MIDIデータをやりとりする	24
ファンクションボタンで設定を変更する	26
バックアップと初期化(イニシャライズ)	28
困ったときは	29
ドラムキットリスト	31
仕様一覧	32
索引	34
保証とアフターサービス	35

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

「警告」「注意」「注記」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

注記

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。

警告

電源



禁止

USBケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、USBケーブルに重いものをのせない。

USBケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



禁止

付属のUSBケーブルをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



本体の上にもろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

医療用電気機器への影響



医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。
心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。
本体が発する電波や本体に内蔵されている磁石の磁気により、動作に影響を与えるおそれがあります。

電池



電池を分解しない。
電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。



電池を火の中に入れない。
破裂するおそれがあります。



使い切りタイプの電池は、充電しない。
充電すると液漏れや破裂の原因になります。



電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。
電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。



指定（32ページ）以外の電池を使用しない。
火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

複数の電池を使う場合、同じメーカーの同じ種類、同じ品番の新しい電池を使用する。

種類やメーカー、品番の異なる電池と一緒に使用したり、新しい電池と古い電池と一緒に使うと、火災、発熱、液漏れの原因になります。



必ず実行

電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れる。

正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。



必ず実行

長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。

電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、電池の取扱説明書の指示に従う。
電池に付属の取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。また、充電機の充電は、必ず専用の充電器をご使用ください。専用器以外を使用すると、電池が発熱、液漏れ、破裂するおそれがあります。



禁止

電池は子供の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。

失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

- ・USBケーブル/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



注意

電源



禁止

たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、USBケーブルを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

USBケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。



必ず実行

USB電源アダプターは、必ず指定のもの(15、32ページ)を使用する。

異なったUSB電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災の原因になります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ずUSBケーブルなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

電源プラグを使用する場合は、電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴覚障害または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様やほかの方々けがをしたりする原因になります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。

お子様が誤って飲み込むおそれがあります。



禁止

大きな音量で長時間使用しない。

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



必ず実行

ストラップを使用して演奏する場合は、ストラップと楽器が確実に固定されていることを確認する。

楽器が落下して、本体が破損したり、お客様けがをするおそれがあります。



禁止

ストラップだけを持って楽器を持ち上げない。

楽器がストラップからはずれて落下するおそれがあります。本体が破損したり、お客様やほかの方々けがをしたりする原因になりますので、必ず楽器本体を持ってください。



禁止

楽器を振りまわすなどの乱暴な取り扱いはいししない。

楽器がストラップからはずれて落下したり、周囲の人を傷つけるなど、思わぬ事故の原因となります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[⌚](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態([VAR](バリエーション)ランプが消えている)でも微電流が流れています。[⌚](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてからBluetoothをオンしてお使いいただくことをおすすめします。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなると、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5°C~40°Cの範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

■ 設定データの保存に関する注意

- この楽器の設定データ(28ページ)は自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

お知らせ

■ データの著作権に関するお願い

- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- この製品に内蔵または同梱されたコンテンツは、ヤマハ(株)が著作権を有する、またはヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物です。製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出し、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

※上記コンテンツとは、コンピュータープログラム、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

※上記コンテンツを使用して音楽制作や演奏を行ない、それらを録音や配布することについては、ヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本製品の品番末尾のアルファベット(「WH」「BU」など)は、外装の色や仕上の情報を表わしています。この取扱説明書では、品番末尾のアルファベットを省略しています。
- Mac、iPhone、iPad、iPod touch、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Bluetooth®およびロゴはBluetooth SIGの登録商標であり、ヤマハ株式会社はライセンスに基づき使用しています。



- MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

Bluetoothについて

Bluetoothとは、2.4 GHz帯の電波を利用して、対応する機器と無線で通信を行なうことができる技術です。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有する周波数帯です。Bluetooth対応機器は、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を採用していますが、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断されることがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、機器の種類により、通信速度や通信距離は異なります。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

製品の取り扱いに関する注意

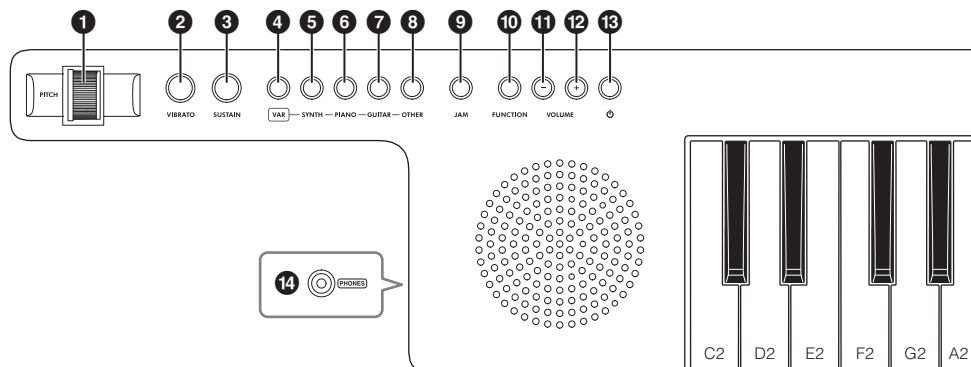
- 本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、日本電波法に基づく認証を受けた無線機器を内蔵しております。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本製品に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造する
 - 本体底面の銘板をはがしたり、消したりする

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

各部のおもなはたらき



① [PITCH](ピッチベンド)ホイール

音の高さ(ピッチ)をなめらかにコントロールします。ネック部を掴んだ左手の指で押し上げるとピッチが上がり、引き下げるとピッチが下がります。ファンクションボタンから効果の向きを入れ替えることもできます(26ページ)。

② [VIBRATO](ビブラート)ボタン

ボタンを押しているあいだ、音にビブラート(音を揺らす)効果がかかります。ボタンを離すとビブラートはオフになります。

③ [SUSTAIN](サステイン)ボタン

ボタンを押しているあいだ、鍵盤で弾いた音を長く響かせることができます。

④ [VAR](バリエーション)ランプ

音色に合わせて色が切り替わります。ランプの色と各音色の詳細は18ページをご覧ください。

⑤ [SYNTH](シンセサイザー)音色ボタン

3つのシンセサイザー音色が搭載されています。ボタンを押すたびに切り替わります。

⑥ [PIANO](ピアノ)音色ボタン

3つのピアノ音色が搭載されています。ボタンを押すたびに切り替わります。

⑦ [GUITAR](ギター)音色ボタン

3つのギター音色が搭載されています。ボタンを押すたびに切り替わります。

⑧ [OTHER](その他)音色ボタン

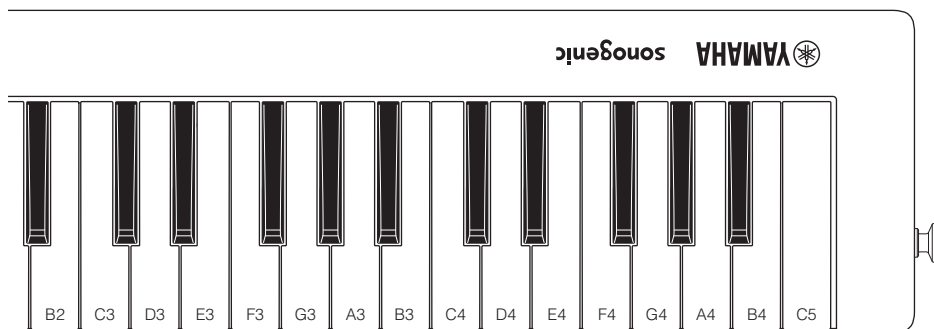
3つの音色が搭載されています。ボタンを押すたびに切り替わります。

⑨ [JAM](ジャム)ボタン

JAM機能がオンになります(赤色に点灯)。押すたびにボタンの色が変わり、JAMモードが切り替わります。さらに押すとオフになります(消灯)。JAMモードの詳細は23ページをご覧ください。

NOTE

JAM機能がオンのとき、曲の新しいコード情報を受信すると、ボタンが点滅します。



⑩ [FUNCTION](ファンクション)ボタン

各鍵盤にはさまざまな機能が割り当てられています。このボタンを押しながら該当の鍵盤を押すことで設定できます。

各機能の詳細は26ページをご覧ください。

⑪ [VOLUME -](ボリューム マイナス)ボタン

押すたびに楽器の音量が下がります。ボタンを押している間は、連続して音量が下がります。

⑫ [VOLUME +](ボリューム プラス)ボタン

押すたびに楽器の音量が上がります。ボタンを押している間は、連続して音量が上がります。

NOTE

- ・ 設定範囲：0～15 (初期設定：13)
- ・ 初期設定音量に戻すには、VOLUME [-]ボタンとVOLUME [+]ボタンを同時に押してください。

⑬ [⏻](スタンバイ/オン)スイッチ

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。電源を入れると④[VAR](バリエーション)ランプが点灯します。電源を切るときは一秒間以上押してから離します。

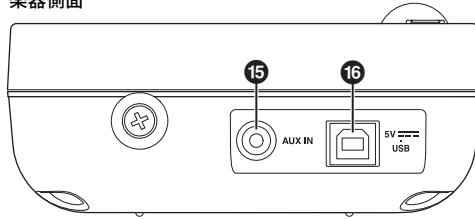
⑭ [PHONES](フォーンズ)端子

ヘッドホンまたはキーボードアンプなどを接続します。3.5mmステレオミニ出力端子です。この端子に接続すると、内蔵スピーカーからは音が出なくなります。キーボードアンプなどを接続すれば、この楽器の演奏を外部スピーカーで鳴らせます。

⚠ 注意

- ・ 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ・ 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った上で行なってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量を最小にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

楽器側面



15 [AUX IN]端子

携帯音楽プレーヤーなどのオーディオ機器を接続して、オーディオ機器の音をこの楽器の内蔵スピーカーで鳴らします。3.5mmステレオミニ入力端子です。オーディオ機器の音量は、オーディオ機器側で調整してください。

注意

機器の損傷を防ぐために、オーディオ機器→楽器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、この逆の順で行なってください。

NOTE

- オーディオ機器側のヘッドホン端子とオーディオケーブルのプラグの形状が合わないときは、変換プラグを使って接続してください。
- オーディオケーブルおよび変換プラグは、抵抗のないものをお使いください。

16 5V DC-IN端子/USB TO HOST端子

USBケーブルを使ってUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリー (15ページ)、スマートデバイスなど(21ページ)と接続します。コンピューターやスマートデバイスと接続した場合、MIDI信号の送受信が可能です(24ページ)。

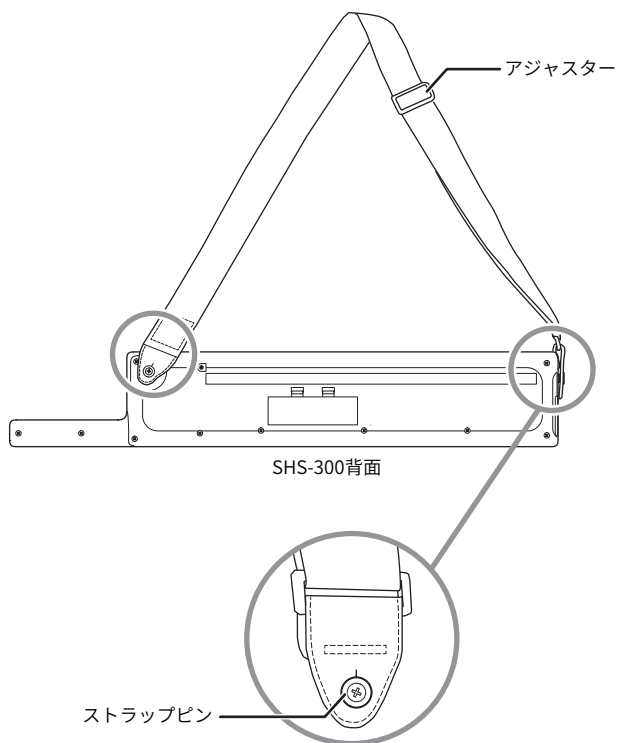
ご使用前の準備

ストラップの付け方

付属のストラップを、図のようにしっかりとストラップピンに取り付けてください。
ストラップの長さは簡単に変えられますので、ご自分の使いやすい長さに調節してください。

⚠ 注意

- 付属のストラップはこのモデル専用です。ほかの製品には使えません。
- ストラップ取り付け後、ストラップが確実に固定されているか確認してください。
- ストラップだけを持ってこの楽器を持ち上げないでください。楽器が落下するおそれがあります。
- ストラップピンを固定しているネジは絶対にゆるめないでください。



電源の準備

この楽器の電源は、以下の2つから選択することができます。お使いになる状況に応じて、それぞれの接続例に従い接続してください。

- 電池(市販)を使用する(14ページ)
- USB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリー (市販)を使用する(15ページ)

注記

- USBケーブルは、必ず同梱のものをご使用ください。同梱以外のUSBケーブルをお使いになると、楽器音が途切れることがあります。
- 接続の前に楽器の電源が切れている([VAR]ランプが消灯している)ことをご確認ください。

電池を使用する

この楽器には、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、および充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。

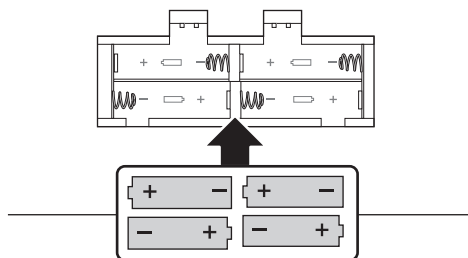
1. 電源が切れていることを確認する。

電源オフ時は[VAR]ランプが消灯します。

2. 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外す。

3. 電池4本を入れる。

イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



4. 電池カバーを閉める。

5. 電池の種類「バッテリータイプ」を設定する。

楽器の電源を入れ(16ページ)、お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(アルカリ/マンガンまたは充電電池)を設定します。初期設定はアルカリ/マンガンです。

設定を変更するには、ファンクションボタンを押したまま「B3」鍵盤を押します(26ページ)。

押すたびにアルカリ/マンガンか、充電電池に設定を変更できます。

注記

- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。
- 電池がセットされ電源が入っているときに、USBケーブルを抜き差しすると、電源が切れることがあります。電源が切れると設定データ(28ページ)が本体に正常に保存されませんので、ご注意ください。
- 電池は早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

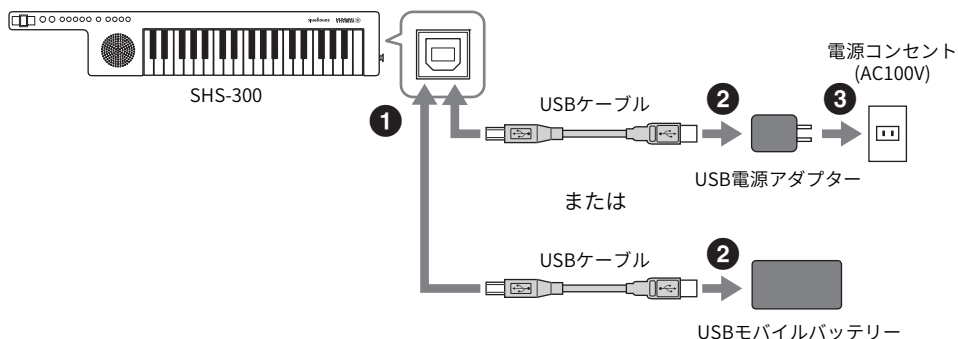
NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池を本体にセットしても、USBケーブルが本体に接続されていると、USBケーブルから電源が供給されます。

USB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリーを使用する

図の順序で同梱のUSBケーブルと、市販のUSB電源アダプターまたはUSBモバイルバッテリーを接続します。

接続したUSBケーブルなどを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。



使用可能なUSB電源アダプター /USBモバイルバッテリー

- 出力電圧 4.8V ~ 5.2V
- 出力電流 1.0A以上

⚠ 注意

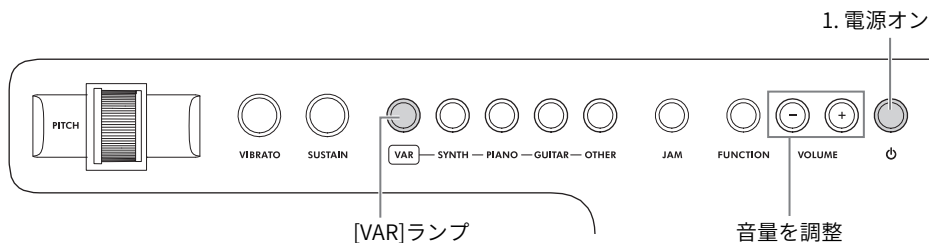
必ずUSB規格に適合し、電源供給ができるものをお使いください。異なったUSB電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。接続について詳しくは、お使いになるUSB電源アダプターやUSBモバイルバッテリーなどの取扱説明書をご覧ください。

注記

USBモバイルバッテリーによっては、この楽器のように消費電流が少ない機器と接続すると、自動的に電力供給を停止するものがあります。USBモバイルバッテリーは、低電流モードなどを備え、消費電流40mA以下の機器にも給電できるものをお使いください。

電源を入れる/切る

1. [⏻](スタンバイ/ オン)スイッチを押して電源を入れる。



電源がオンになると、[VAR]ランプが点灯します。
音量は鍵盤を弾いて確かめながら、調整してください。

音が出ないときは、29ページの「困ったときは」をご覧ください。

注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

注記

電源を入れてから、楽器が完全に起動するまで操作しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

2. 電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/ オン)スイッチを押す(1秒)。

注意

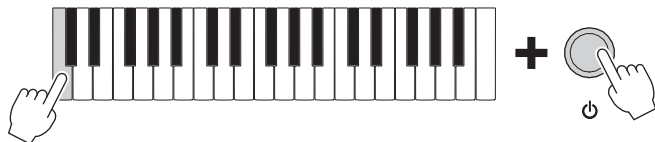
電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントからUSB電源アダプターを抜いてください。また、電池を使用している場合は、電池を本体から抜いてください。

オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、本体が一定時間(30分)操作されないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。初期設定はオンですが、ファンクションからオン/オフを切り替えることもできます(27ページ)。

オートパワーオフ機能を無効にする

1. 電源が入っている場合には、一度電源を切る。
2. 左端の鍵盤(一番低いド)を押したまま電源を入れる。



オートパワーオフ機能を有効にする

一度無効にしたオートパワーオフ機能を有効にしたいときは、ファンクション(27ページ)から設定するか、楽器の初期化(イニシャライズ)(28ページ)を行ないます。

注記

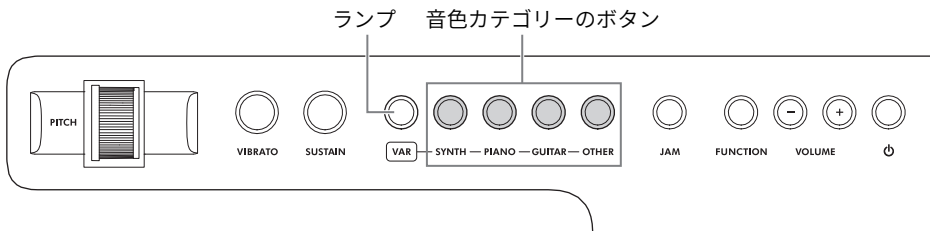
- オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、本体の設定データは自動的にバックアップされます(28ページ)。
- アンプやスピーカーなどの外部機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部機器損傷を防ぐために外部機器→楽器の順に電源を切ってください。接続した状態で自動的に電源が切れるのを避けたい場合は、オートパワーオフ機能を無効にしてください。

いろいろな音で演奏する

音色を変える

鍵盤を弾いたときに鳴る音を、ギターやエレクトリックピアノなどの音色に変えることができます。

1. 鍵盤の音に設定したい音色カテゴリーのボタンを押す。
- 各カテゴリーに3音色ずつ搭載されています。ボタンを押すたびにランプの色が「赤」→「ピンク」→「白」→「赤」の順に切り替わり、音色も切り替わります。



音色リスト

カテゴリー	音色名	ランプ	MSB	LSB	PC No. (1-128)
SYNTH	鋸波 リード	赤	0	0	83
	矩形波 リード	ピンク	0	0	81
	シンセ ブラス	白	0	0	63
PIANO	ピアノ	赤	0	0	1
	エレクトリック ピアノ	ピンク	0	0	5
	オルガン	白	0	0	17
GUITAR	エレクトリック ギター	赤	0	0	30
	アコースティック ギター	ピンク	0	0	26
	エレクトリック ベース	白	0	0	34
OTHER	ストリングス	赤	0	0	50
	シンセ ベース	ピンク	0	0	39
	ダンス キット	白	127	0	113

NOTE

- ダンスキットの音色には、いろいろな打楽器音が鍵盤に割り当てられており、鍵盤でドラム演奏ができます。割り当てられている打楽器については、31ページのドラムキットリストをご覧ください。
- MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、PC No.を使用してください。
- PC No.を0～127で設定する場合は、リストのPC No.から1を引いた値を設定します。たとえば、83の値を設定する場合は、1を引いて82の値を設定します。

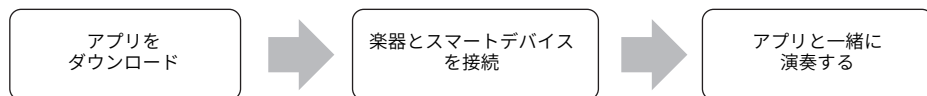
JAM機能を楽しむ

JAM機能について

無償アプリ「Chord Tracker」と接続し、スマートデバイス内の曲に合わせて、一緒に演奏できる機能です。適当に弾いても音が外れず、曲に合った音が鳴りますので、手元を気にせず思い切り演奏できます。

好きな曲に合わせて弾いてみよう

JAM機能を使って、スマートデバイス内の曲に合わせて演奏してみましょう。スマートデバイスにアプリをダウンロードしてから、楽器と接続してください。



アプリをダウンロードする

無償アプリ「Chord Tracker」(iOS/Android)をダウンロードします。

Chord Tracker (無償アプリ)

「Chord Tracker」は、iOSとAndroidのスマートデバイスに対応しています。アプリのリリース日、詳細、対応デバイス、入手方法については、以下のウェブサイトまたは、検索エンジンにて、「ヤマハ Chord Tracker」で検索してください。

<https://jp.yamaha.com/products/apps/>



Bluetooth接続する

NOTE

- Bluetooth無線接続ができない場合はUSBケーブルを使って有線で接続することもできます。接続方法は次ページをご覧ください。
- Androidデバイスをお使いの場合、Bluetooth MIDI機器の検出には、アプリに位置情報へのアクセスを許可する必要があります。このアプリではGPSなどを用いてお客様の位置情報を取得することはありません。

1. 楽器の電源を入れる。
2. スマートデバイスのBluetooth機能をオンにする。
3. アプリ Chord Trackerを起動して、[設定] → [Bluetooth MIDI Device]で、この楽器の名前「SHS-300」をタップする。

接続が完了すると、「Connected」と表示されます。



※画面はiPhoneの例です。Androidデバイスの場合、「未接続」をタップすることで、Bluetooth MIDI デバイスを選択する画面が表示されます。

Bluetooth接続できない場合は、29ページの「困ったときは」をご覧ください。

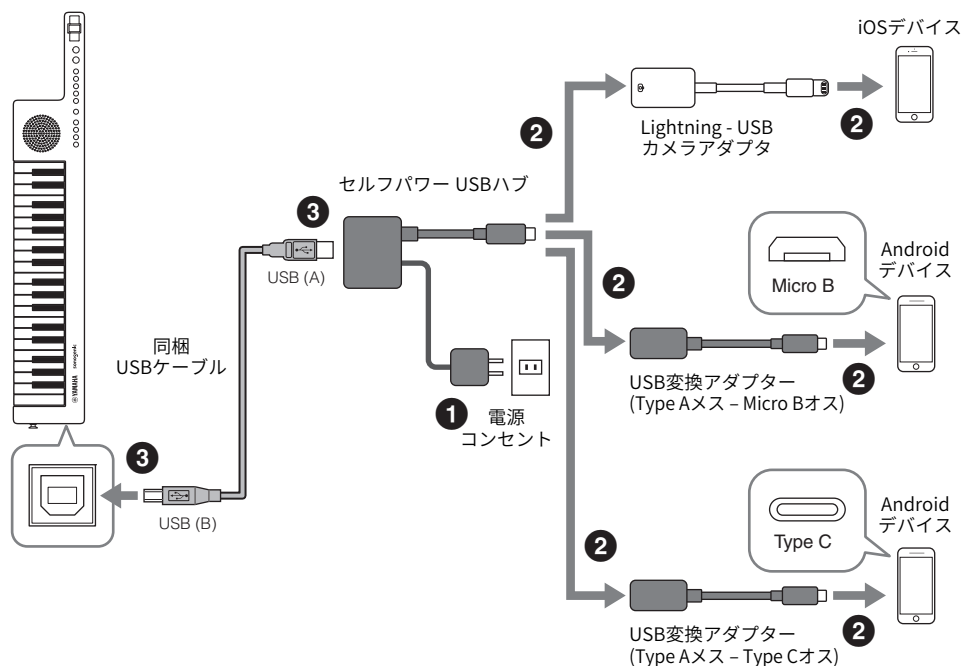
NOTE

この楽器のBluetoothがやりとりできるのはMIDIデータのみです、オーディオデータはやりとりできません。

USBケーブルで接続する

注記

USBケーブルは、必ず同梱のものをご使用ください。同梱以外のUSBケーブルをお使いになると、音が切れる原因になります。



1. 楽器の電源を切った状態で、スマートデバイスと楽器を接続する。

USBケーブルでつなぐ場合に必要なのは、デバイスの種類によって異なります。上のイラスト例を参照してください。

またイラストに示した番号の順番、**①** 電源コンセント → **②** スマートデバイス → **③** 楽器の順に接続してください。

USBハブの接続手順は、お使いのUSBハブの取扱説明書をお読みください。

⚠ 注意

お使いになるUSBハブの安全上のご注意をお読みください。

使用可能なUSBハブ

- 出力電圧 4.8V ~ 5.2V
- 出力電流 1.0A以上

⚠ 注意

必ずUSB規格に適合し、電源供給ができるものをお使いください。異なったUSBハブを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

2. 楽器の電源を入れる。
3. ファンクション機能「USB MIDI」をオンに設定する(27ページ)。
[FUNCTION]ボタンを押したまま「C5」鍵盤(右端の鍵盤)を押します。

アプリと一緒に演奏する

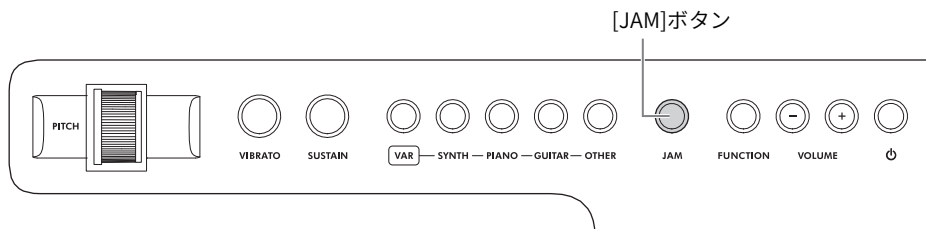
1. 楽器をBluetooth接続(またはUSB接続)する。
接続手順は20ページにあります。
2. アプリ「Chord Tracker」を起動して、曲を選ぶ。
選んだ曲のコード情報が自動解析され、画面に表示されます。



NOTE

コード情報は高い精度で解析されていますが、原曲と異なる場合があります。

3. [JAM]ボタンを押して、JAM機能をオンにする。
オンにするとボタンが赤色に点灯します。モードは「1Finger」です。



4. JAMモードを選ぶ。

JAMボタンを押すたびに3つのJAMモードを順番に選べますので、演奏したいスタイルに合わせて選びます。

JAMモード

ランプ	モード	説明
消灯	—	JAM機能オフ
赤	1Finger	伴奏に適したモードです。押さえた鍵盤の音にハーモニーが付くので、指1本でも伴奏ができます。
ピンク	Backing	伴奏に適したモードです。曲のリズムに合わせて和音を弾くと、曲に合った音が鳴ります。
白	Melody A	メロディー演奏に適しています。どの鍵盤を弾いてもコードにあう音が鳴ります。

*アプリのメロディーキャンセル機能で、ステレオ再生のセンターに位置する音を小さくすることができます。多くの場合、ボーカル音などのメロディーパートがセンターにあるため、メロディーパートを鍵盤で演奏したいときなどに便利です。詳細はアプリのマニュアルをご覧ください。

5. アプリで曲を再生する。

NOTE

曲を選択すると、曲中のコード情報が自動解析されてアプリから楽器へMIDI送信されます。このコード情報と選択されたモードに合わせて鍵盤の発音が決まります。

音量設定

演奏音量は楽器側で、曲の音量はスマートデバイス側で、それぞれ調整してください。

6. 曲のリズムに合わせて一緒に演奏する。

選んだJAMモードに合わせて、伴奏またはメロディーを弾きましょう。

7. 演奏を終了する。

アプリで曲をストップさせて、[JAM]ボタンを何度か押してJAM機能をオフにします(消灯)。また、スマートデバイスのアプリも終了させてください。

NOTE

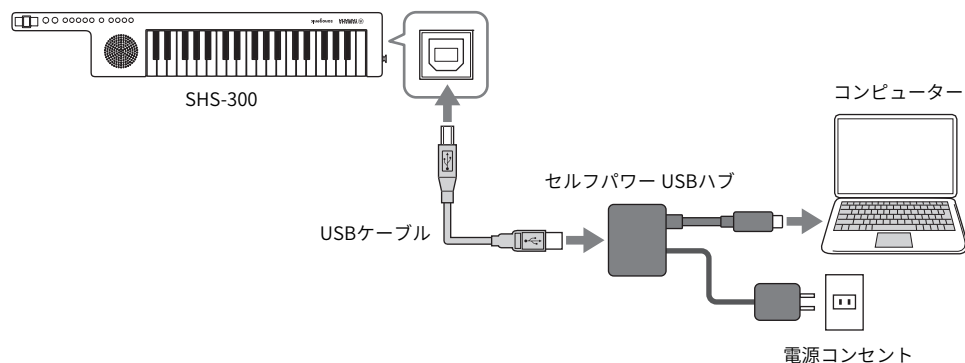
- アプリChord Trackerの詳細な機能や操作方法については、アプリのマニュアルをご覧ください。
- JAMモード中はトランスポーズ機能は使えません。

MIDIデータをやりとりする

録音ソフトや音楽制作ソフトの入ったコンピューターやスマートデバイスとUSBケーブルで接続すると、MIDI情報の送受信ができます。

注記

- USBケーブルは、必ず同梱のものをご使用ください。
- USBハブはセルフパワータイプをご使用ください。



NOTE

スマートデバイスとの接続方法は22ページをご覧ください。

1. 楽器の電源を切った状態で、コンピューターやスマートデバイスと楽器を接続する。

接続手順は、お使いになるUSBハブの取扱説明書をお読みください。

⚠ 注意

お使いになるUSBハブの安全上のご注意をお読みください。

使用可能なUSBハブ

- 出力電圧 4.8V ~ 5.2V
- 出力電流 1.0A以上

⚠ 注意

必ずUSB規格に適合し、電源供給ができるものをお使いください。異なったUSBハブを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

2. 楽器の電源を入れる。

3. ファンクション機能「USB MIDI」をオンに設定する(27ページ)。

[FUNCTION]ボタンを押したまま「C5」鍵盤(右端の鍵盤)を押します。

USB TO HOST端子ご使用時の注意

USB TO HOST端子でコンピューターと接続するときは、コンピューターや本体の停止(ハングアップ)によるデータの損失を防ぐため、以下のことを行なってください。

注記

- 楽器の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください(鍵盤を演奏したり録音を再生させたりしても、本体からデータが送信されます)。
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください。

コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動するか、本体の電源を入れ直してください。

USB-MIDIドライバーについて

USB TO HOST端子に接続する場合、通常はドライバーのインストールは不要です。ただし、動作が不安定だったり不具合が発生したりした場合は、下記URLから対応のUSB-MIDIドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

NOTE

- Macの場合、MacOSに用意されている標準ドライバーを使いますので、ドライバーのインストールは必要ありません。
- お使いのOSによっては、ヤマハUSB-MIDIドライバーが対応していない場合があります。

サポート・お問い合わせ：

<https://jp.yamaha.com/support/>

- * 「ソフトウェア」を選択し、「USB-MIDI」と入力して検索してください。
検索結果から、お使いのOSに対応したUSB-MIDIドライバーを選択してください。
インストール方法は、ダウンロードファイルに付属のインストールガイドを参照してください。

ファンクションボタンで設定を変更する

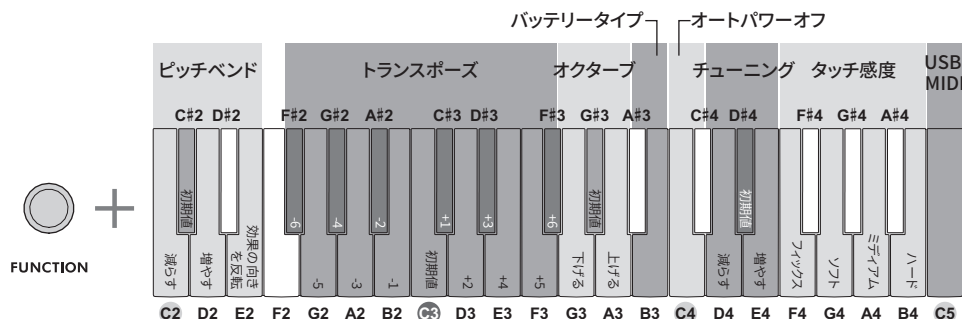
1. [FUNCTION]ボタンを押したまま、設定を変更したい機能が割り当てられた鍵盤を押す。

設定を変更すると、次の2種類の音で設定完了をお知らせします。

低い音：設定をオフにしたとき

高い音：設定をオンにしたとき、その他の設定変更のとき

設定値の上限または下限に達すると、音は鳴らなくなります。



鍵盤の下にある刻印でも、設定する鍵盤の位置が確認できます。

機能	設定	鍵盤
ピッチベンドレンジ 鍵盤の音の高さを連続的に変える範囲(変化幅)を半音単位で設定します。 設定値：1～12 初期値：2	減らす	C2
	初期値(2)	C#2
	増やす	D2
	効果の向きを反転させる	E2
トランスポーズ 鍵盤の音の高さを半音単位で移調します。 設定値：-6～+6 初期値：0 NOTE <ul style="list-style-type: none"> JAM機能オン時は動作しません。 ドラムキット(31ページ)にはトランスポーズはかかりません。 	-6	F#2
	-5	G2
	-4	G#2
	-3	A2
	-2	A#2
	-1	B2
	初期値(0)	C3
	+1	C#3
	+2	D3
	+3	D#3
	+4	E3

機能	設定	鍵盤
トランスポーズ	+5	F3
	+6	F#3
オクターブ 鍵盤の音の高さをオクターブ単位でシフトします。 設定値：-2～+2 NOTE 初期値は音色により異なります。	下げる	G3
	初期値	G#3
	上げる	A3
バッテリータイプ 使用する電池の種類を切り替えます。 高いお知らせ音は充電電池を、低いお知らせ音はアルカリ/マンガン電池を示します。 設定：アルカリ/マンガン、充電電池 初期設定：アルカリ/マンガン		B3
オートパワーオフ 自動的に電源が切れる機能を有効にするか、無効にするかを切り替えます。 高いお知らせ音はオンを、低いお知らせ音はオフを示します。 設定：オン(30分)、オフ 初期設定：オン(30分)		C4
チューニング 楽器の音程を約0.2Hzで設定します。 設定値：427.0Hz～453.0Hz (-65セント～+65セント) 初期値：440.0Hz (00) NOTE ドラム音色(31ページ)は設定できません。	減らす	D4
	初期値(440.0 Hz)	D#4
	増やす	E4
タッチ感度 鍵盤を弾く強さを変えたときの、音の強弱の付き方 (タッチ感度)を設定します。 初期設定：ミディアム	フィックス：タッチによる強弱はつきません。	F4
	ソフト：弱く弾いても大きな音が出ます。	G4
	ミディアム：標準的なタッチ。	A4
	ハード：強く弾かないと大きな音が出ません。	B4
USB MIDI USB MIDIデータ送受信のオン/オフを切り替えます。 高いお知らせ音はオンを、低いお知らせ音はオフを示します。 初期設定：オフ NOTE オフ設定時はBluetooth接続になります。オン設定時はBluetoothが使えません。		C5

バックアップと初期化(イニシャライズ)

電源を切ったとき、オートパワーオフ機能で電源が切れた場合、それまでの設定データは自動的にバックアップされます。

バックアップされる内容

ファンクションの設定(26ページ)

- ピッチベンドレンジの効果の向き
- バッテリータイプ
- オートパワーオフ
- チューニング
- タッチ感度
- USB MIDI

楽器の音量

注記

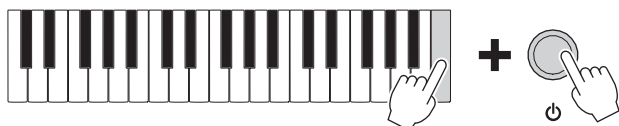
バックアップは電源を切るときとオートパワーオフのときのみ自動的に実行されます。
下記の状況で電源が切れたときは、バックアップが実行されませんのでご注意ください。

- 電源が入っている状態で、USBケーブルを抜いたとき
- 停電などで突然電源が切れたとき
- 電池を使用していて、消耗して電源が切れたとき

初期化

すべての設定をリセットし、工場出荷状態と同じ設定にしたいときに操作します。

1. 電源が入っている場合には、一度電源を切ります。
2. 右端の鍵盤(一番高いド)を押したまま電源を入れます。



困ったときは

Q. 音が鳴らない、小さい。

A. VOLUME [+]ボタンを押して音量を上げてください。

A. [PHONES]端子に、ヘッドホンなどのプラグが接続されていませんか？

Q. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、ポツンという音がする。

A. 故障ではありません。本体に電流が流れるためです。

Q. 音量が小さくなった。音質が劣化した。

A. 電池が消耗しています。4本とも新しい電池に交換するか、付属のUSBケーブルを使って電源供給してお使いください。

Q. 電源が勝手に切れる。

A. 故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです(17ページ)。オートパワーオフ機能を使用しない場合は、ファンクション(27ページ)でオートパワーオフをオフに設定してください。

Q. スマートデバイスのアプリと楽器を一緒に使っているとき、本体スピーカーやヘッドホンから雑音(ノイズ)が出る。

A. スマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるため、スマートデバイスの機内モードをオンにしてから、Bluetoothをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。

Q. 同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。

A. この楽器の最大同時発音数(32音)を超えています。32音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。

Q. [AUX IN]端子につないだオーディオ機器の音が鳴らない、小さい。

A. オーディオ機器の音量は、オーディオ機器側で調整します。接続しているオーディオ機器の音量を上げてください。

A. 抵抗の入っていないオーディオケーブルをお使いください。

Q. Bluetooth接続できない。

- A. アプリがインストールされているスマートデバイスのBluetooth機能がオンになっているか確認してください。
- A. 楽器が別のスマートデバイスとBluetooth接続されていないか確認してください。この場合は、すでに楽器と接続されているスマートデバイスのBluetooth機能をオフにしてから、使用したいスマートデバイスと接続し直してください。
- A. お使いのスマートデバイスがアプリChord Trackerに対応しているか以下のサイトでご確認ください。
- <https://jp.yamaha.com/products/apps/>
- A. ファンクション「USB MIDI」の設定がオフになっているか確認してください(27ページ)。

Q. USBケーブルでデータ通信ができない。

- A. ファンクション「USB MIDI」の設定がオンになっているか確認してください(22ページ 手順3)。

ヤマハウェブサイト「よくあるお問い合わせ(Q&A)」(<http://yamaha.custhelp.com/>) もご確認ください。

ドラムキットリスト

C2	C#2
D2	D#2
E2	
F2	F#2
G2	G#2
A2	A#2
B2	
C3	C#3
D3	D#3
E3	
F3	F#3
G3	G#3
A3	A#3
B3	
C4	C#4
D4	D#4
E4	
F4	F#4
G4	G#4
A4	A#4
B4	
C5	

Keyboard		ダンスキット
Note#	Note	
25	C# 0	スルドミュート
26	D 0	スルドオープン
27	D# 0	ハイキュー
28	E 0	ウィップスラップ
29	F 0	スクラッチH
30	F# 0	スクラッチL
31	G 0	フィンガースナップ
32	G# 0	クリックノイズ
33	A 0	メトロノームクリック
34	A# 0	メトロノームベル
35	B 0	シーククリックL
36	C 1	シーククリックH
37	C# 1	ブラッシュタップ
38	D 1	ブラッシュスワール
39	D# 1	ブラッシュスラップ
40	E 1	リバースシンバル
41	F 1	スネアロール
42	F# 1	ハイキュー 2
43	G 1	スネアテクノ
44	G# 1	スティックス
45	A 1	キックテクノ Q
46	A# 1	リムゲート
47	B 1	キックテクノ L
48	C 2	キックテクノ
49	C# 2	サイドスティックアナログ
50	D 2	スネアクラップ
51	D# 2	ハンドクラップ
52	E 2	スネアドライ
53	F 2	タムアナログ 1
54	F# 2	ハイハットクローズアナログ 1
55	G 2	タムアナログ 2
56	G# 2	ハイハットクローズアナログ 2
57	A 2	タムアナログ 3
58	A# 2	ハイハットオープンアナログ
59	B 2	タムアナログ 4
60	C 3	タムアナログ 5
61	C# 3	シンバルアナログ
62	D 3	タムアナログ 6
63	D# 3	ライドシンバル 1
64	E 3	チャイニーズシンバル
65	F 3	ライドシンバルカップ
66	F# 3	タンバリン
67	G 3	スブラッシュシンバル
68	G# 3	カウベルアナログ
69	A 3	クラッシュシンバル 2
70	A# 3	ビブラスラップ
71	B 3	ライドシンバル 2
72	C 4	ボンゴH
73	C# 4	ボンゴL
74	D 4	コンガアナログH
75	D# 4	コンガアナログM
76	E 4	コンガアナログL
77	F 4	ティンバレスH
78	F# 4	ティンバレスL
79	G 4	アゴゴH
80	G# 4	アゴゴL
81	A 4	カバサ
82	A# 4	マラカス 2
83	B 4	サンバホイッスルH
84	C 5	サンバホイッスルL

Keyboard		ダンスキット
Note#	Note	
85	C# 5	ギロショート
86	D 5	ギロロング
87	D# 5	クラベス 2
88	E 5	ウッドブロック H
89	F 5	ウッドブロック L
90	F# 5	スクラッチ H
91	G 5	スクラッチ L
92	G# 5	トライアングルミュート
93	A 5	トライアングルオープン
94	A# 5	シェイカー
95	B 5	ジングルベル
96	C 6	ベルツリー

- MIDIのNote No.とNoteは、キーボードのNote#とNoteよりも1オクターブ低くなっています。
- Note# 25~35は、外部からMIDI受信した場合にのみ発音します。

仕様一覧

品名		電子キーボード
音源	音源方式	AWMステレオサンプリング
	最大同時発音数	32
	ボイス数	12
ファンクション	JAM	○ (3モード)
	全体設定	チューニング、ピッチベンドレンジ、USB MIDI切り替え、トランスポーズ、オクターブシフト、タッチ感度
	Bluetooth接続	Bluetoothバージョン: 4.0 対応プロファイル: GATT Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠 無線出力: クラス2 最大通信距離: およそ10m 無線周波数(動作周波数): 2,402~2,480MHz 最大出力電力: 4dBm 変調方式: GFSK変調
操作子	鍵盤	37 HQ (High Quality) Mini鍵盤
	その他操作子	ピッチベンドホイール、ビブラートボタン、サステインボタン
接続端子		[AUX IN] (3.5mmステレオミニジャック) [PHONES] (3.5mmステレオミニジャック) [5V DC/USB TO HOST]
音響		アンプ出力: 0.7W スピーカー : 8 cm x 1
電源	電源(市販)	<ul style="list-style-type: none"> • USB電源アダプター : 5V/1A • セルフパワー USBハブ: 5V/1A • 電池: 単3電池(アルカリ電池/マンガン電池/充電式ニッケル水素電池)×4(市販品)
	消費電力	2.5W (USB電源アダプター使用時)
	電池寿命	アルカリ乾電池: 15時間 充電式ニッケル水素電池: 12時間
	オートパワーオフ	○
寸法/質量		733mm (W) x 125mm (D) x 56mm (H)、 1.2kg (電池含まず)

付属品	ストラップ、USBケーブル、取扱説明書、保証書、 製品登録のご案内
別売品	ソフトケース: SC-KB350、 ヘッドホン: HPH-150、HPH-100、HPH-50

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

索引

B

Bluetooth接続	20
Bluetoothについて	9

C

Chord Tracker	19
---------------------	----

J

JAM機能	19
JAMモード	23

M

MIDIデータ	24
MIDIリファレンス	2

U

USBケーブル接続	21
USB電源アダプター	15
USBモバイルバッテリー	15

ア

アプリ	19, 22
アプリのダウンロード	19
安全上のご注意	4

オ

オートパワーオフ	27
オートパワーオフ機能	17
オクターブ	27
お手入れ	8
音色	18
音色リスト	18

コ

ご使用上の注意	8
困ったときは	29

シ

仕様	32
初期化(イニシャライズ)	28

ス

ストラップ	13
-------------	----

タ

タッチ感度	27
-------------	----

チ

チューニング	27
--------------	----

テ

電源	14, 16
電池	14

ト

ドラムキットリスト	31
トランスポーズ	26

ハ

バックアップ	28
バッテリータイプ	27

ヒ

ピッチベンドレンジ	26
-----------------	----

フ

ファンクション	26
付属品	2

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

保証について

● 保証書

本製品には保証書が付いています。
「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

● 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は

TEL 053-460-4830 へおかけください。

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
03-5762-2125
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)
06-6649-9340

● 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
JMT京浜E棟A-5F
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17
ナンバ辻ビル7F
FAX 06-6649-9340

*名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆キーボードの仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口



ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-006-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **TEL 053-460-5272** へおかけください。

受付： 月曜日～金曜日 10:00 ～ 17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

<https://jp.yamaha.com/support/>

◆ウェブサイトのご案内

ヤマハ株式会社のホームページ

<https://jp.yamaha.com/>

ヤマハエレクトーン・キーボード

<https://jp.yamaha.com/kbd/>

ヤマハ サポート・お問い合わせ

<https://jp.yamaha.com/support/>

ヤマハミュージックデータショップ

<https://yamahamusicdata.jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

Manual Development Group

© 2019 Yamaha Corporation

2021 年 6 月 発行

MWES-B0

* 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

VCH1310